

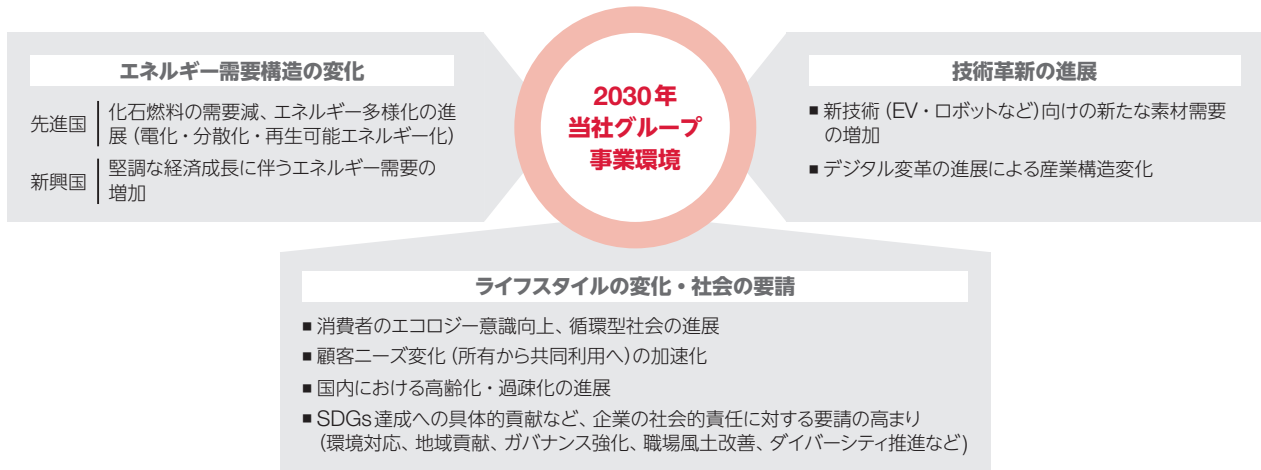
中期経営計画

出光グループは、「中期経営計画(2020～2022年度)」を2019年11月に公表しました。国内外でお取引いただいている全てのお客様、当社グループが事業を展開する地域の皆さま、地域に密着した特約販売店、物流や保全の協力会社や、産油国をはじめとする国内外のビジネスパートナー、そして多様なバックグラウンドを持った当社グループ従業員、これらのステークホルダーの皆さまと共に、新たな価値創造に挑戦していきます。「共創」はこうした当社グループの想いが込められています。



独自で作成した長期エネルギー事業環境シナリオに基づき、2030年の当社グループ事業環境を以下の3つの視点で捉えています。

この事業環境の下、2030年に向けた2つの基本方針を定め、これを軸として、事業活動を推進するとともに、社会課題の解決にも取り組みます。



2030年に向けた基本方針

レジリエントな事業ポートフォリオの実現

重点課題と主な取り組み

「収益基盤事業の構造改革」

- 燃料油事業の収益追求(統合シナジーの最大化、製油所信頼性の向上)
- ニソン製油所の事業基盤強化

「成長事業の拡大」

- 事業規模・領域拡大(中計期間のM&A 1,000億円規模)
- 高機能材事業営業利益比率 2030年30%へ
- 海外再生可能エネルギーなどの総電源開発量 2030年5GWへ(うち、4GWは再生可能エネルギー)
- ソーラー事業の業態転換

「次世代事業の創出」

- 社会の変化、顧客ニーズの多様化、環境負荷低減などを見据えた新たな事業の創出

社会の要請に適應したビジネスプラットフォームの構築

重点課題と主な取り組み

「地球環境・社会との調和」

- GHG削減の取り組み
2030年:2017年比▲200万t-CO₂

「ガバナンスの進化」

- 取締役会の役割機能強化

「デジタル変革の加速」

- デジタル技術の活用による新たな価値創造

中期経営計画期間（2020～2022年度）の経営目標

中期経営計画期間中および2030年の定量目標を以下のよう
に定めていますが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う事業

環境変化、エネルギー基本計画の動向も踏まえ、見直しの上、
開示する予定です。

	中計期間累計（3年間）
当期利益	4,800億円
営業利益+持分法投資損益	7,200億円
ROE（自己資本利益率）	10%以上
FCF（フリーキャッシュフロー）	4,000億円

2030年の定量目標

	2030年度
営業利益+持分法投資損益	3,000億円
3事業営業利益比率（燃料油・石油開発・石炭）	50%未満
高機能材事業営業利益比率	30%以上
総電源開発量累計（うち、海外）	5GW以上（4GW以上）

進捗トピックス

🔥 収益基盤事業の構造改革
 📈 成長事業の拡大
 🌱 次世代事業の創出
 🌍 地球環境・社会との調和

<p>SSブランドの刷新 ➡ P.24</p> 	<p>製油所における 競争力強化の取り組み ➡ P.26</p> 
<p>中国惠州の潤滑油製造 工場 生産開始 ➡ P.30</p> 	<p>ブラックペレットの 実用化に向けた 取り組み ➡ P.40</p> 

統合シナジーの創出

当社は、経営統合によるシナジー効果600億円を2021年度ま
でに実現することを目標に掲げています。2019年度は、需給・製造・
物流・調達・コーポレート分野で350億円のシナジーを既に実現し
ています。2020年度以降は、ブランド施策の統合、販売戦略の見
直し、精製コストの最適化、会社横断プロジェクトであるDTK（だ
ったらこうしょう）プロジェクト推進による業務効率化などに組み
込み、2021年度までに600億円を達成すると同時に、さらなるシナジー
創出を目指します。

■ 経営統合によるシナジー効果

